

## 第2回新発田市まちづくり総合計画審議会 会議録

- |   |      |  |
|---|------|--|
| 1 | 日 時  | 令和2年1月9日（木） 午後2時～午後3時50分                                 |
| 2 | 場 所  | 本庁舎5階 501、502会議室   |
| 3 | 出席委員 | 寺内会長、岸本副会長、関川委員、籠島委員、西村委員、小池委員、姉崎委員、田中委員、久志田委員、鶴巻委員、佐藤委員 |
| 4 | 欠席委員 | 5名   |
| 5 | 事務局  | みらい創造課（課長、課長補佐、企画政策係長、ほか4名）                              |
| 6 | 傍聴者  | 3名   |

項 目	担 当	内 容
1 開会	事務局	<p>これより第2回新発田市まちづくり総合計画審議会を開会いたします。</p> <p>ここからの進行は会長にお願いしたいと思います。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
2 議事	会長	<p>それでは次第に従って進めてまいりたいと思います。</p> <p><u>※基本目標（案）について</u></p> <p>まず、基本目標（案）についてでございます。前回第1回に事務局から説明いただきましたが、今回私どもの委員会で審議する内容というのは基本目標についてでございます。その中で5つある基本目標を、今回の第2回、それから次回の第3回で審議を進めていきたいということでした。まず審議に入る前に、今回の審議内容について、事務局の方から説明をお願いいたします。</p>
	事務局	(資料説明)
	会長	<p>ただいま事務局から審議内容について説明していただきました。今回の審議につきましてはまず、5つの基本目標の中でⅠの生活・環境、Ⅲの教育・文化について審議していくということでございます。審議内容については先ほどの、新発田市まちづくり総合計画 第1章基本構想（案）の11ページ12ページに記載されております基本目標の内容について、資料として配布されているたくさんの資料があるという次第です。このたくさんの資料の中で例えば施策評価表の評価結果とか、そのようなものをご覧いただきながら、将来都市像を実現するための基本目標となっているか、またこの表現でいいのかどうか、ということをお聞きいただき、委員の皆様それぞれのご経験等がございますので、その視点、また新たな新鮮な視点でご意見をいただければと思います。</p>

	<p>それでは、基本目標のⅠであります生活・環境についての審議ということで進めてまいりたいと思います。基本構想(案)の11ページにあります、「Ⅰ生活環境 ～地域への愛着や誇りをもち、安心して住み続けられるまち～」です。前回事務局からも、サブタイトルもつけることで、わかりやすくしているという説明を頂戴しておりました。</p> <p>お気づきの点があればご意見をお願いいたします。</p>
委員	<p>文章自体は上手にまとめられていると思うのですが、要約されているので、少し曖昧な印象が気になりました。防災について、災害に強いまちづくりという観点から気になったのが、新発田市が水道事業の民営化についてどのような立場なのか、これから災害になると水道も大事なので、現状どのようなスタンスなのか、というのが知りたいと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。水道の民営化について事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>お手元のA3判の8ページ目に「上下水道」という施策のページがありますので、そちらをお開きください。</p> <p>こちらに「いつでも安全でおいしい水道水が利用でき、生活排水がきちんと処理される、清潔で快適な生活が送れるまち」と掲げさせていただいており、民営化について新発田市は検討しておりません。このことを踏まえて、現状・課題を整理させていただき、施策の展開としては、水道老朽管の更新と安定経営、水道施設の耐震化及び更新、下水道施設の早期整備というかたちで、市がイニシアチブととったかたちでの管理をし、市民の皆様へ安全でおいしい水を利用いただけるようにしようというのがこちらの施策になります。</p> <p>先ほど少し曖昧な表現が多いということでしたが、たしかにいくつかのものをまとめて表現をしようとする、基本目標の大きなところでは言い切りができていないという点をご指摘のとおりだと思います。そのほかの委員の皆様からも、ご意見を頂戴したいと思います。</p>
会長	<p>事務局からもありましたが、抽象的な表現が多いような気がします。抽象的でいい面もありますが、抽象的がゆえに、誤解等が生じてしまう場合もありますので、そういった場合ははっきりと示した方がいいのではないかとこのところのございましたら、そういったところも指摘してもらいたいという要望もありますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>新発田市は住みよいという印象を持っています。昨年末に新発田市内で転居しまして、その時に活用させていただいたのがハザ</p>

	<p>ードマップです。非常に分かりやすいです。欲をいえば、もう少し詳しい情報があるといいなと思ったところはありません。人口10万人足らずの市ですので、生活・環境という面で、もっとあったらいいというところは、高齢化や少子化の人口との関係で難しいかもしれませんが、公共交通機関が一番です。</p> <p>今後は、新発田も全国にいろいろな面で住みやすいまちと宣伝ができるかと思っています。</p>
委員	<p>一つは防災ですが、「市民、防災団体、関係機関との連携による災害に強いまち」とあり、自治会で防災の取り組みということで補助金をいろいろと頂いていますが、自治会のなかでも取り組みが進んでいる自治会と、なかなか進めない自治会もあり、その中でどのようにしていくかということがあります。FMのラジオは、各自治会には3台しか配布されないので、役員全員に配りたいという意見もあり、それをどうやって補助金やお金を出していくとかという問題もあります。</p> <p>もう一つは公共交通の問題です。公共交通については、今、あやめバス、菅谷、川東とありますが、豊町などちょっと郊外に出た人たちが乗るものがない。ちょっと市内から離れた、あやめバスに乗れない方をどうやって助けていくのか、高齢化で足がないといいながら、だんだんバス路線も減っているの、どうやって高齢者の足を確保できるかというのが今後の課題だと思っています。</p>
委員	<p>目標の文言というところで、最初の安全・安心なまちをつくり、ということで書いてありますが、もう一歩、市民を守りますというところまで踏み込んでいいのかなと思って聞いていました。先ほどの曖昧なところももちろんあると思いますが、防災に関して言うと、市民や関係している方を守ることが一番重要になると思うので、目標としてきちんと入れてもいいのかというところが一つです。</p> <p>私も市外から来ていて感じているのですけれども、新発田に愛着を持つというところで、3番目の地域資源やまちづくりによって、愛着や誇りを醸成しますということで書いてありますが、一番愛着を持つ、新発田に住んでよかったと思うきっかけとしては、文化的な交流など、新発田まつりを見たり、参加したりというところのきっかけが出てくると思います。ただ、この文化については次に審議する教育・文化のところにも関わってくると思うので、地域資源というのは、A3判の施策の10番の景観についてということだと思ってしまうので、ちょっと文言的には難しいのかと思いますが、愛着や誇りを醸成するというのであれば、文化のどこ</p>

	<p>ろも関わってくるのかと思いながら読んでいました。</p>
委員	<p>今聞いてすぐに特にこれだという話はないのですが、基本目標なので、ある程度抽象的なのはしょうがないし、目標から具体的な文言は入らないと思います。黒丸が5つあり、一番上が重要かと思いますが、それが生活・環境の中で防災が最上位でいいのか、3つ目の地域資源や市民の愛着、誇りを全面に押し出して、地域への愛着や誇りをもちというところを強調した基本目標でもいいのではないかと考えています。内容的には特に指摘等はありません。</p>
委員	<p>生活・環境の基本目標ですが、読んでみて理想的な部分が並んでいるというのが第一印象です。私は関東から新発田市にきて長年になりますが、私が関わる高校3年生の8割から9割が新発田から出たいと言っておりまして、私が感じている新発田のよさを、子どもたちがなかなか感じていないところに、もったいないなと感じています。いかに子どもたちに新発田に対する愛着、誇りをもってもらうかということに関しては、教育も含めて今後推進していただきたいと思っています。</p> <p>この中の文言の中で、2番目にある「公園をはじめとしたこれまでの生活基盤を十分に活かし」ということで、以前10年前くらいですと、公園はたくさん子どもたちが遊んでいる姿をみたのですけれども、最近は公園に行きましても子どもたちがボールを使うことができないということもありまして、子どもたちが外で遊んでいる姿があまり見受けられないということから、この言葉が少し気になりました。</p> <p>先ほどもありました公共交通機関に関しましても、やはり新潟交通さんの運営状況が少なくなったということで、とても困っているという話を聞いています。藤塚浜のあたりの方たちは、週末はバスが運行していないので、まちなかに出るのに困っているという話もありました。</p> <p>5番目の計画的かつ合理的な土地利用を推進しということで、実際、どのように計画的かつ合理的な土地利用が推進されているのか、具体的に知りたいなと思いました。</p> <p>私自身、新発田に暮らしてよかったと思いますし、私の友人も関東から遊びにくると新発田はよいまちだと言っただけです。どうしてよいのかを伺うと、城下町ということもあり心が落ち着くという点や、この自然をみてそのような気持ちになる、また来たいと皆さん言ってくれるので、ぜひこれからそのようなことをうまく発信していけたらと思います。</p>
委員	<p>私は新発田で生まれて一度離れて戻ってきたので、両方のよさ</p>

	<p>と悪さを感じながら生活をしているのですが、今も月に数回上京し、帰ってくるたびにそのギャップのようなもののよい面と悪い面の両方いつも感じています。よい面というのは、やはり皆さんがおっしゃるように、落ち着いて生活ができるということ、物価が安いということ、それからまちを安心して歩けるという点だと思います。一方で子どもたちは今東京で働いていて、戻ってくる予定は全くございません。それはなぜかという仕事がないからです。私もそれでよいと思っていますし、残念なことにやはり、ある程度能力を活かす仕事というのが少ない状況のなかで、どうやって新発田の魅力、暮らしやすさをだして行くのかということがあると思います。子どもたちが東京や大都市に出ていきたいというのが一つあるんですが、最近私たちは、同年代の友人と会うたびに、老後これから5年後はどこで暮らそうかという話になります。というのは、新発田で暮らすのは、非常に難しい面があるというのを最近ひしひしと感じていて、それは交通のインフラであったり、病気になったときにどうなるのか、土地とか自分の家を支えていくという自信もないので、インフラの整った東京とかの方がバスでどこでも行けるし、ダメになったら施設に入れてもらえるし、と考えるしまうのです。今、安心して住み続けられるまちというところに、子どもが出ていくということより、むしろ私たち、ある程度の年齢になったら新発田を出ていこうと思う人間が少なからず出始めているということも、もう少しこの中で反映していただけたらと思います。難しい問題ではあると思いますが、新発田は大好きだけでも、足腰たなくなってきたときに、今は車があるので買い物に行けますが、それがなくなったときに、本当に安心して住み続けられるだろうかというところを、もう少し何か項目の中に入れていただけたらなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>基本目標の中でサブタイトルをつけていただいたのは、とてもわかりやすくよかったと思う。市民の皆様が見るものなので、わかりやすい表記を心がけていただきたいと思います。</p> <p>防災に関して、基本計画の方をみたところ、関連する個別の計画や条例のところ、避難行動要支援者避難支援プランというものを参考にされているということなのですが、福祉避難所のことが書かれていなかったのも、ちょっと心配だと思いました。福祉避難所は、それぞれ避難所が開設されたらその場所その場所に開設されると聞いておりますし、福祉避難所と看板を出してしまうところに避難者が集中してしまうという懸案があることも存じておりますが、災害が起きたときに自分で避難できない方たちが、命を助けていただくことも考えていただきたいと思いますのと、この計</p>

	<p>画の中に要支援者についての記載をしていただきたいと思いました。新発田市中間支援組織推進協議会でモデル事業を行うことで、自治体の共助を強化することで、要支援者支援もそちらで進めていくということでしたので、少しそのあたりも詳しく表記していただければと思います。</p>
委員	<p>生活・環境の基本目標については、わかりやすい文章だと思います。箇条書きもわかりやすく、抽象的でも仕方がないと思いますので、特にこの内容についてはこれでよいと思います。</p> <p>全体的に「持続可能」というのがキーワードで世の中進んでおり、基本計画の中にも何度も書かれていたので、この形で進めていければよいと思いました。</p>
委員	<p>今色々なご意見をお聞きしまして、私の専門はスポーツ関係ですが、その分野についてはある程度知っているつもりでも、皆様の話を聞くと、新たな発見があります。ものを進めていくには道標が必要なので、この目標が大事だと思います。目標について色々ご意見がありましたが、新発田はこういう取り組みをするんだという基本目標を、しっかり踏まえて、それから具体的な目標が出てくるし、日々の活動が生まれてくるのではないかと思います。</p> <p>交通機関ですが、私もある高等学校の役員を仰せつかったときに、特に阿賀野市の方の方が、電車を待つ時間を無駄にしないで家に帰れるよい方法はないかと考えてみたが、難しくそのまま流れてしまっている。先ほどバスの話もあったが、市外の方は新発田まで通うのは容易でない。新発田市だけでなく、他町村を巻き込んで、新発田の高校に学びにくる生徒さんが、新発田に行ってよかった、新発田に惚れた、新発田にある敬和学園大学に行こう、となってくると非常にうれしいと思う。これはなかなか面倒ですが、何かいい知恵があればと思っています。</p> <p>防災関係ですが、いただいた資料にありますように、人員が不足している中で色々な要求に対応していかなければいけない。これもなかなか容易でないが、強いまちをつくるには避けて通れない課題であるので、真剣にみんなが知恵を出し合うことが求められていると思います。</p>
会長	<p>新潟職能短大は指定避難所となっています。ところが水害の場合は対象外となっていますが、近いからということで来る人もいるようです。施策の中に「指定避難所ごと」とありますが、どの指定避難所がどの災害のときの対象になるのかということは明確化していただきたいと思ったところです。</p> <p>先ほど高校生が新発田市から出たいと思っているという話が</p>

	<p>ありましたが、学生に聞いてみると、若い人が過ごしにくいという言葉がありました。スーパーやファーストフードもあるので便利ではあるのですが、それ以上の遊興施設となると新潟まで行かなければならない。そうすると交通手段がなく、他の市から来ている人からすると面白味がないというところです。ただ新発田市を知ると非常に愛着を持つようになりまして、いろいろなところで建物の再現やモデルをつくったりと、貢献させていただいておりますが、そういったところで若い人に知ってもらうことがあるかと思っています。</p> <p>安心してというところでは、女子学生を夜に帰らせるのが怖い状況があります。特に電車通学している学生は、駅までの道が暗く、早く帰りなさいと言っても5時くらいには暗くなりますし、コミュニティバスに乗せようとしても本数が少ない。オープンキャンパスなどでも保護者の方から、そのあたりがネックという話も聞きます。</p> <p>基本目標の文章に関しては、あまり誤解を招かない表現になっているかと思っています。</p> <p>記載順は、何かルールがあって表記されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>記載順につきましては、「安心・安全なまちづくり」というのは、近年の激甚災害が全国各地で多発している状況からいくと、市民の方にとっては、災害に関する事項が安心安全の一番かと考えて、このような記載順にさせていただいています。ただ、皆様の意見として、地域への愛着が一番ではないかというご助言が頂ければ、検討の余地があるかと思っています。ただひとつ防災の中で「市民を守る」という表現をしたらどうかという意見をいただきましたが、施策の課題のところに書いてあるとおおり、大規模災害の発生時には行政だけの対応では限界がある。これは全国各地の災害を見ていただいて分かるとおおり、自助・互助・共助という3助の考えが必要不可欠と考えています。そのためにここに書いてある新発田市避難行動要支援者避難支援プランは各自治会の皆様に、障がいのある方、高齢の方、一人暮らしの方については、こういう避難行動をしましょうということを平常時に作りましょうと提案しているところです。市民を守るのは行政だけでなく、自分の命を守るための市民の意識を育てることも大事なところなので、そこは、これではわかりにくいというサジェスションを受けたかと思っていますので、市民の皆様に十分お伝えすべき言葉が必要だと思っています。</p> <p>また、何名かの委員から避難所の支援プランに関するご助言をいただきました。具体的に施策の中に書き込むかは別にしまして</p>

も、来年度の事業のなかで、モデル地区を設定し実際にそのようなものを作るお手伝いをして、何地区かですばらは作って、それを横展開すると考えていたようではありますが、今日ご助言いただいたものは各担当に戻したいと思えますし、会長からご指摘いただいた避難所の指定につきましても、きちんとした一覧表があったと思えますので、きちんとお示しをしなければならないと思っています。

皆様から話題提供いただいた公共交通については、施策のシートでは、「地域のための公共交通の充実により、活気にあふれ、暮らしやすいと実感できるまち」とすばらしい言葉が並んでいますが、ここに至る公共交通ということ、今、市民まちづくり支援課が公共交通対策室という機関で検討させていただいておられますが、今ご意見をいただいたところがそのキーワードになっていくと思っています。施策の展開の部分も今のご指摘にあった部分に応じたような形で一番下に高校生のことも書かせていただいているようでもありますし、コミュニティバスの話もあります。今話を聞いておられますと、2つ目の目標値が地域における検討組織等の構築数ということでもいいのかどうかというところは、少しサジェスチョンいただいたように感じているので、フィードバックをしていきたいと思っています。

その他、地域資源というのは、観光的な資源ではなく、まちなみ景観という話もありました。ここは、そういったものがわかりにくい表現だと思いますので、もう一工夫必要かと思っています。

土地利用とはどのようなものかというお話もありましたが、11枚目のシートを見ていただくと、この土地利用というのは、様々な計画が関連しています。個別の計画のところの上から2つ目の都市計画マスタープラン、農村マスタープラン、立地適正化計画、都市計画法施行条例など、様々な計画が複合的に絡んだ土地利用となっているので明確に説明できずに申し訳ありませんが、そういった計画がこの施策の下に位置付けられていて、個別のところできちんと記載をしているという形でご理解をいただければありがたいと思います。

仕事がない部分や、老後について新発田での生活を選択できないというご指摘をいただきました。0～14歳、30～39歳の社会動態はプラスになっています。これは、これまで取り組んできた少子化対策の取り組みで、移住定住支援、子育て支援が反映し、その世代の皆様には選んでいただけるまちとして少し認知度が上がったのではないかと考えていますが、実際、20～29までの間が



	<p>もっとも転出が多く、その数字をリカバリーできるだけの転入をいただいているわけではありません。ご指摘のとおりでありまして、その部分については、後ほどお話しする総合戦略の方で、しごとづくりや人の流れという項目もありますので、そちらで説明させていただければと思います。</p>
会長	<p>I の生活・環境について、その他お気づきの点がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>安心して住み続けられるまちというのは、すごく大事なキーワードだと思いました。そのためにはどうするかというと、今、事務局もおっしゃったように、自発的な、自治体の強化も大事な点だと思いました。</p> <p>安心して住み続けられるまちとして、これから高齢者人口が圧倒的に多くなっていくなかで、公共交通はかなり大事だと思っています。私は農村部に住んでおり、散歩をしているおばあちゃんに会ったあつたときに、今まで近隣集落には、まちなかの店の移動販売が来ていたという話をしていました。それでお年寄りが集まって、自分のおやつなど買い物をしていました。しかし、お店の方も高齢で移動販売をやめてしまった。そしたらそれがすごく不便だということでした。これから買い物難民がすごく増えてくるのではないかと思います。</p> <p>また、安心して住み続けられるまちということで、不審者について、学生さんがこわいという話もありましたが、安心メールに登録をしていると、女の子への声掛け事案が多いです。私もメールを確認するのですが、その不審者事案がどうなったのかが分からない。補導したのか、指導したのか、わからないので気を付け続けたほうがいいのか、わかるとよいと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>火事の際は鎮火しましたといったメールがくるのですがそれと同じように結果があれば、というご要望だと思います。</p>
事務局	<p>移動販売の話も、総合戦略のしごとづくりで説明できるかと思います。不審者情報については、ご指摘のとおりだと思いますので、地域安全課に伝えたいと思います。</p>
会長	<p>それでは一度次の項目に移りたいと思います。次は一つ飛びまして、Ⅲの教育・文化についてのご審議です。基本構想（案）11ページの3つ目で、「夢や希望に向かって、学び続ける人が育つまち」というところがございます。先ほどと同じように、委員の皆様には少しずつ意見をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>少し気になったのは、A3判の学校教育の課題で、「中学生の基礎・基本の定着をより確かなものとするために」という文言が削</p>

	除されていますが、私たちは中学生の基礎・基本を身に付けさせるために力を注いでいるのですけれども、なぜ削除されたのかお伺いしたいと思っております。
事務局	担当課の教育委員会の方で削除したようですが、委員からそのような話があったといことを折り返しながら検討させていただきたいと思います。
委員	しばたの心継承プロジェクトというのは新たな取り組みなのでしょうか。
事務局	これは、まちづくり実行プラン Ver. 3 という今回の市長公約の中で、義務教育と社会教育の融合の中で、子どもたちに城下町しばたの歴史文化を学ぶカリキュラムを充実していくことによって、ふるさとに自信と誇りをもてる子どもたちを目指した新しいプロジェクトを開始します、ということで掲げさせていただいたプロジェクトであります。社会教育と義務教育の連携の中で様々な展開をしたいということで、目標値も学校の学びということではなく、地域に対する興味や関心が高まったと感じる児童生徒の割合、要は愛着の醸成というところに寄与していきたいということでもあります。
委員	新発田はいろいろな歴史や技術的なことがたくさんあると感じているので、とてもこれは期待したいと思います。新発田から外に出たときに、子どもであっても大人であっても、自分のふるさとのことをきちんと語ることができないというのは課題であって、新発田はどのようなところですか、どのような歴史ですかと聞かれて、大人であってもきちんと答えられない方が多く、これは海外にいくとより顕著で、君のホームタウンはどのようなまちかと聞かれて、日本語で説明できないことを英語ではとても言えないのですが、そのようなことを子どものころから考えさせ学ばせていただけるというのはありがたいと思います。
委員	私どもの立場からお願いしたいのは、やはり特別支援教育への理解ということで、理解教育を推奨してほしいという思いがあるのですが、2つ目の人権教育あるいは同和教育に含まれると思いますので、特に加えて申し上げることはありません。
委員	新発田の歴史や文化を勉強してもらって、地域への愛着や誇りを持った子どもに成長するのはすばらしい取り組みだと思うので、ぜひ頑張ってくださいと思います。
委員	私は子どもが3人いるので、気になるのは学校環境です。A3判の右側の3つ目にあるICT教育の環境整備とあり、コンピュータやタブレットをこれから増やしていくと思いますが、これはこれからどこまで力をいれていくのか。これからこういう社会にな

	<p>っていくと、これが得意であれば新発田にいながら仕事ができる技術が身につくかもしれないということがあるので、ICT教育がどこまで補助し、取り組んでいくのか興味があります。</p> <p>また、学ぶということに、遊ぶも付け加えてもらって、せっかくスキー場等もあり、中浦小は1～2年生のそり遊びはあるのですが、3年生以上のスキー教室はない。これは学校が決めることなのかもしれないが、やはりスキーをやってもらい、子どもにアウトドアの楽しさも学んでもらい、遊ぶ道具が欲しい、お金を稼がなくてはいけないという遊びの中から夢や目標も見つかって頑張っていくのではないかなと思っています。</p>
委員	<p>個人的には、土地の文化は大切に保持・伝承しているところは強いというイメージを持っています。栃木の足利、萩、いずれも知らない人は少なく、なぜかという、やはりその土地の文化・教育を大事に昔から継承しているからです。今日の教育・文化の基本は、昔と違って、年齢に関係なくなっていると思う。幼児から老年まで、教育は一生涯一貫してという形に変化していると思います。そういった意味で、新発田市が、生涯一貫教育文化都市ぐらになれれば、他からみると、「新発田ってそういうところだよ、歴史もあるよね」という形で生き残り戦略としては一つの大きな武器になるかと思っています。幸い、新発田はそのようなものを持っていると思います。</p>
委員	<p>今言われたように、新発田の歴史や文化は非常に大事だと考えています。それを継承することについても、いろいろなNPO団体等について、どのような活躍をしているのか、例えば、「生涯にわたる市民の学びの意欲～」という文章の中に、NPO団体等を含めながらなど、市民の団体とどのように新発田の歴史やこれからの考える機会が必要だと思います。文化というのは、新しくつくる文化も必要だと思います。新発田で新しい文化を作っていくことが教育になっていくと思います。</p> <p>また、教育については、市や県の要望によって、学校の先生の仕事量が増えている。新発田であれば、日本語学習や、道徳、今度はこれといったように、非常に働く側としては厳しい状況だと聞いている。学校教育と、その先生の指導の方法というの少し踏み込んでいただければいいかと思っています。</p>
委員	<p>新発田は支援学級など、支援が必要な子どもへのサポートは、他市町村からみても手厚い部分となっている。そこはもっとアピールしてもいいと思います。反面、なかなか理解されていない部分もあり、私くらいの世代では支援学級というものがなく、「特殊学級」という呼び方をして、ちょっとそのような印象を持つ方</p>

	<p>もいて、本当に必要な子どもたちに必要な支援がいきわたっているかといわれると、まだまだ理解をしていただけていない状況です。</p> <p>同和教育であったり、差別的なものをどう捉えていくか、大人側の理解が進まない、なかなかそのような特色がいいものを活かさないのではないかと感じています。</p> <p>新発田がもつ特色として、今言ったものと、家庭への教育として、この中に含めるかは別として、理解を深める取り組みをしてもらえるとうれしいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>市長も子どもと向き合う時間の確保ということをおっしゃっていますが、ここには残念ながら直接的には書かれていないので、そういったところをお願いしたいと思います。</p> <p>特別支援教育の話がありましたが、基本的には特別支援教育として一つ独立していると考えていて、人権教育、同和教育と重なる部分もありますが、ちょっと違う部分もある。いわゆるUDLという、どんな子どもでもその子に応じた教育をするというのが特別支援教育なので、特別支援学級在籍の子どもに対する教育は、その中のごく一部であるので説明させていただきました。</p> <p>教育・文化は、目標に沿って、4点書かれており、網羅すべきところは全て網羅されていると思っています。表現についても、私は関係者なので、違和感なく読むことができました。上の2点がいわゆる学校教育の部分です。大事なところが学校教育ですが、不易と流行の部分があり、不易というのがいわゆる学習指導要領に示されている部分です。それが2点目になります。流行のその時代によって取り組む内容の部分が1点目のプロジェクトである。これは両方ともとても大事である。2点目は学力の話であり、全国どこの学校でも学力を高めなければならない。1点目は新発田ならではの独自の取り組みなので、この2つが両輪となって学校教育を進めていただけるのはありがたいと思っていますし、説得力はあると思います。</p> <p>あわせて今後この2つ学校教育について書いていくなかで、どっちをより重点的に書いていくのか、書きぶりが難しいと考えています。A3判では、見え消しも含め課題の1点目の「中学生の基礎～」は学力に関する話である。3点目の「また、子どもがふるさと新発田に～」は、新発田独自の取り組みの話である。しかし施策は、しばたの心継承プロジェクトが一番上であり、どちらも大切であるが、どこを中心に書いていくのか難しいと思っています。</p> <p>施策については、学校教育だけ施策の柱が4本ある。少ないと</p>

	<p>ころは2本、だいたい3本ずつであるが、ちょっと多いかなと思います。それだけ細かく見ていただいているということもありますが、3本でもいいのかなと思います。学校現場からすると、しばたの心継承プロジェクトも、食育もカリキュラム上は総合的な学習の時間として枠組みとしては同じ時間であるので、1と4を一緒にしてもいいのではないかな。</p>
委員	<p>先ほどの訂正をさせていただきたいのですが、特色ある新発田の教育の中で、支援学級の話をしてしまいましたが、支援学級が特色があるということではなく、一人ひとり個性に合わせて教育をしたいと教育委員会が考えており、そのなかの一つとして支援学級がやはり充実しているという話です。</p>
委員	<p>先ほど新発田のよさはなんだと聞かれましたが、皆さんは何と答えますか。私は、中学校と高校の校歌を歌います。その中からイメージして新発田はこういうところだ、だからいいところだと説明する。特に小中学校は、やはり校歌を大事にして欲しい。そこに自ら教材があるような気がする。1番でも2番でも覚えているということが大事だと思う。</p> <p>学校や教育など名前がつくと、すぐ何か目先のものをしなければいけないと思いますが、日ごろ大人がどれだけ子どもと接触しているか、ものすごい数です。学校開放やスポーツ少年団、クラブなど、いろいろな分野でいっぱい関わっているけれども、私たち大人に欠けている部分がある。</p> <p>カルチャーセンターの芝生のところに各中学から集まってくる子どもたちがいます。最初は自転車バラバラに置かれていたが、今は整然としている。学校開放も小学生が来て、最初はぐちゃぐちゃと置かれていた靴が整然と並ぶようになる。靴の置き方は大切だと聞かせてあげると変わる。連れてきた保護者にも変わったと教えてあげる。そういった機会を私たちが見逃してきて学校教育はこうだということばかり言っている。普段私たちが接しているなかにこれだけ教材があるということを大人がもう少ししっかりしないと、学校の先生たちは容易ではない。学校が忙しいということは、喜びがある、希望が育っているという多忙感であればよい。それ以外の多忙感であると、それは地域や保護者が支えていかないと、学校の先生は過労だとなってしまう。行政の手厚い保護も容易ではないので、市民が学校を大事にする気持ちをもつ必要がある。</p> <p>子どもの外遊びについて、子どもの視力の減退がすごいという報道があった。それは外遊びをしないで、ゲームやスマホをしているからである。</p>

		<p>そのような諸々を含め、この文章は網羅しているので、よくできた文章だと思う。</p>
会長		<p>A3 判の 2 学校教育の施策の中で、ICT 教育の環境整備とありますが、現場の先生などに聞くと、タブレットを入れてくれるのはいいが、いろいろな新しい技術を学ぶ機会が少ないという声もありました。ハードウェアの整備だけでなく、先生たちのサポートも入れていただければと思います。また、昨年末に成績表を書き換えてしまったという生徒もいましたので、ICT を整備するだけでなく、情報セキュリティの充実化というのも施策に盛り込んでいただければいいかなと思いました。ネットワーク犯罪は、するのと巻き込まれる両方あると思うので、小さいころから教育していただければと思います。</p> <p>大変多くの意見をいただきました。いったんこの教育文化についてはここで終了としたいと思います。また、次回もございますので、お気づきの点などありましたらおっしゃっていただければと思います。</p>
会長		<p>※その他</p> <p>それでは引き続きまして、次第の 2 の議事のその他ですが、こちらの基本構想（案）の全般に対するご意見があればお願いします。</p>
		<p>（意見なし）</p>
会長		<p>それでは事務局お願いします。</p>
事務局		<p>教育・文化につきましても、担当課にフィードバックするとともに、さきほどの教員と子どもが向き合える時間の確保や ICT の教育についても出前で先生方への講習も考えているようであります。そういった点がどこまで総合計画に記載できるかはもう一度検討させていただきたいと思います。</p> <p>また、障がい児、障がい者教育については、健康・医療・福祉の部分や、市民活動・行政活動の方にも記述をさせていただいている部分もあります。ただ先ほど、お褒め頂いた部分については、担当課に伝えさせていただきたいと思います。</p>
3 閉会	会長	<p>それでは、第 2 回まちづくり総合計画は閉会とさせていただきます。</p>